

特別展 Information

「特別展 国宝 鳥獣戯画のすべて」

「特別展 国宝 聖林寺十一面観音——三輪山信仰のみほとけ」

「聖徳太子1400年 遠忌記念特別展 聖徳太子と法隆寺」

「伝教大師1200年 大遠忌記念特別展 最澄と天台宗のすべて」……2、3

「博物館でお花見を」……4

「特集 おひなさまと日本の人形」

「特集 東京国立博物館コレクションの保存と修理」……5

総合文化展PickUp!

（本館／東洋館／平成館／法隆寺宝物館／黒田記念館）……6、7
ト・ハクの調査研究①……7

本館展示案内（2階：日本美術の流れ、1階：ジャンル別展示）……8、11
2021年度の総合文化展 国宝室（本館2室）の予定……11

みどりのライオン（教育普及事業）……12

博物館で動物めぐり「特集 鳥獣戯画展スピンオフ 動物表現の古今東西」
「特集 親と子のギャラリ― 動物のうごき」……13

イベント&インフォメーション……14、15

東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第764号

2021

3・4・5



裏表紙に
掲載してるほ!



表紙の名品

「幼時を夢見る坂田金時」



特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」

平成館特別展示室 4月13日(火)～5月30日(日)

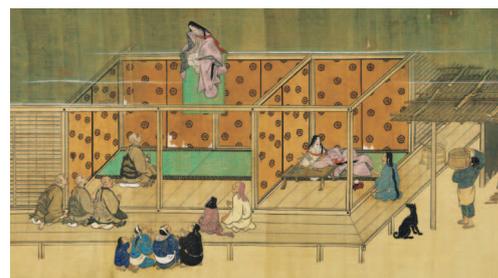
鳥獣戯画といえば兔や蛙、猿が登場する甲巻が有名ですが、今回注目いただきたいのは丙巻。前半が人物戯画、後半が動物戯画から成る巻で、もとは表裏に描かれていたものを、紙を薄く剥いで今の形になったことがわかりました。よく見ると線の特徴も異なり、別の人物によって描かれたとみられます。通常は人物戯画と動物戯画は期間中に場面替えるをすることが多いのですが、今回の「全巻全場面展示」では両者を同時に見比べることができます。

加えて本展では、鳥獣戯画の伝わった高山寺中興の祖・明恵上人の事跡もご紹介します。なかでも見逃せないのが「日本絵巻史上の最高傑作」とも評される春日権現験記絵で、明恵上人の真摯な信仰世界を垣間見ることができます。このほか、明恵上人生誕地で青年期の修行地でもあった和歌山の浄教寺からゆかりの寺宝も出陳されます。(土屋貴裕)



●鳥獣戯画 丙巻 平安～鎌倉時代・12～13世紀 京都・高山寺蔵
人物・動物戯画の境の部分。両端の丸い墨汚れは紙を剥く前に付いたものです。山折りにするとちょうど重なります

観覧料：一般2,000円、大学生1,200円、高校生900円 *事前予約(日時指定券)が必要です。展覧会公式サイト等でご確認ください。
展覧会公式サイト <https://chojugiga2020.exhibit.jp/>



かすがごんげんげんきえ まきだいじゅうなな
春日権現験記絵 巻第十七 (部分)

詞書：良信筆、絵：高階隆兼筆 鎌倉時代・延慶2年(1309)頃
宮内庁三の丸尚蔵館蔵 展示期間：4月13日(火)～5月9日(日)
インド渡航を目指す明恵上人に対し、春日明神が中止を訴える場面です



ぶつわほんす
●仏涅槃図

鎌倉時代・13世紀 和歌山・浄教寺蔵
釈迦入滅の様子を描いた仏画で明恵上人の思想を反映した図様とされます

特別展 「国宝 聖林寺十一面観音」

こくほう しょうりん じじゅういちめんかんのん
みわ やましんこう
— 三輪山信仰のみほとけ —

本館特別5室 6月22日(火)～9月12日(日)

すぐれた仏像が多く残る天平彫刻の中でも、この像のように威厳と優美を兼ねそなえた像は多くありません。拝するものを見つめる目、引き締まった唇からは仏の威厳が伝わります。肩や胸が広くて厚みのある体は堂々としています。一方、美しく曲げられた両手の指や、柔らかな衣のひだ、両腕から台座に垂れる天衣の優美な曲線には心がひかれます。天平彫刻の最高峰のひとつにあげられるのにふさわしい像です。会場では像の周りに広い空間をとり、美しい正面の姿ばかりでなく、厚みに圧倒される横からの姿、寺では見ることができない後ろ姿もご覧いただけます。(丸山士郎)

じゅういちめんかんのん ぼさつりゅうぞう
●十一面観音菩薩立像
奈良時代・8世紀 奈良・聖林寺蔵



ずじょうめん
頭上面 (部分)

頭上には11の面がありましたが、現在は仏面1、菩薩面2、怒った面3、牙を出した面2が残ります



右手 (部分)

力を抜いてゆったりとした指の美しさに目をうばわれます。左手は優雅に水瓶を捧げ持ちます

展覧会公式サイト <https://tsumugu.yomiuri.co.jp/shorinj2020/>

聖徳太子1400年遠忌記念 特別展 「聖徳太子と法隆寺」

平成館特別展示室 7月13日(火)～9月5日(日)

聖徳太子の実像と太子信仰の世界に迫る本展では、法隆寺から普段間近で拝観することのできない数多くの文化財が出品されます。

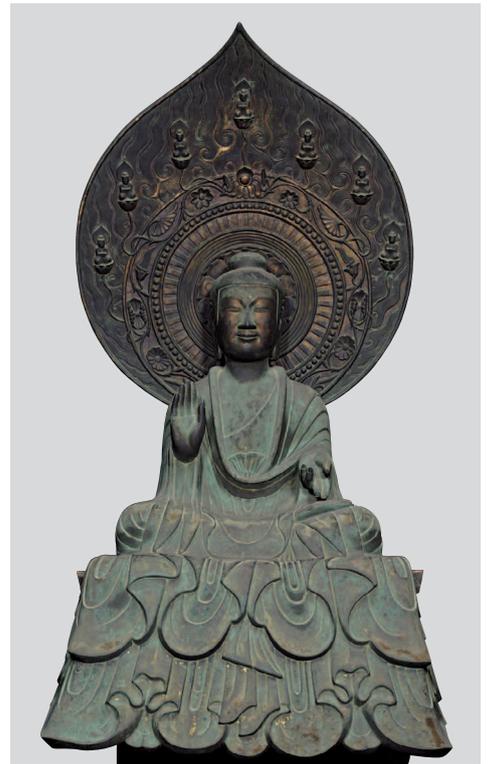
なかでも注目したいのが金堂に安置されている国宝 薬師如来坐像です。厳格な構図に基づく姿と柔らかな造形の調和が魅力的な古代金銅仏の傑作です。

光背裏に刻まれた銘文によると、聖徳太子の父である用明天皇が病の折に薬師像と寺の造立を発願したものの、崩御のために実現できず「丁卯年」(推古天皇15年(607))に至って推古天皇と聖徳太子が完成させたといえます。

この年は法隆寺の創建年とされており、薬師像は法隆寺の根本本尊として尊崇されてきました。しかし美術史上では造形や鍛造技法の検討から7世紀中頃の制作と考えられ、成立事情に大きな謎が残されています。(三田寛之)



(部分)
◎聖徳太子像(孝養像)
鎌倉時代・13世紀 奈良・法隆寺蔵
後期展示予定
聖徳太子が16歳の折、父である用明天皇の病氣平癒を祈って仏に香炉を捧げる姿です



◎薬師如来坐像
飛鳥時代・7世紀 奈良・法隆寺蔵

展覧会公式サイト <https://tsumugu.yomiuri.co.jp/horyuji2021/>

伝教大師1200年大遠忌記念 特別展 「最澄と天台宗のすべて」

平成館特別展示室 10月12日(火)～11月21日(日)

平安時代のはじめに、仏教界に新しい旋風を巻き起こした二大巨頭といえば、伝教大師最澄と弘法大師空海。本展の主演は、延暦寺を創建して天台宗を開き、誰もが悟りを開けるという究極の平等思想を説いた最澄です。最澄が分け入った比叡山は、現在は一山すべてが延暦寺の境内となっています。鎌倉時代には法然、親鸞、道元など仏教界のスターを輩出して、日本の宗教史上、母なる山と呼ばれました。本展では最澄没後1200年の大遠忌を記念し、日本文化形成のなかで重要な役割を果たした最澄と天台宗の足跡を、初出展を含む数々の貴重な宝物から紐解きます。(皿井舞)

◎聖徳太子及び天台高僧像 十幅のうち 最澄*

平安時代・11世紀 兵庫・一乗寺蔵

最澄の肖像画で最古のもの。中国で天台宗を開いた智顛の姿に似ています



◎光定戒牒

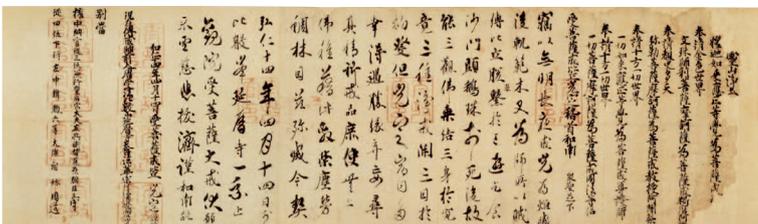
嵯峨天皇筆
平安時代・弘仁14年(823)
滋賀・延暦寺蔵

最澄の弟子でその志を継いだ光定の受戒証明書。書に秀でた嵯峨天皇の宸筆です



◎阿弥陀如来立像*

平安時代・10世紀
京都・真正極楽寺(真如堂)蔵
最澄の高弟、円仁の作と伝えられる秘仏本尊。寺外初公開の貴重な機会となります



展覧会公式サイト <https://saicho2021-2022.jp/> ※印の作品は展示期間が未定です。

雲のあいだから見える
優美な春の一場面



(左隻)

7室

源氏物語図屏風
(絵合・胡蝶)

狩野(晴川院)養信筆
江戸時代・19世紀
展示期間:3月9日(火)~4月18日(日)
鮮やかな色彩や白く輝く桜が美しい、華やかで春らしい作品です

透明感ある花びらの
描写が美しい



8室

(右幅)

桜花図

広瀬花隠筆 江戸時代・19世紀
展示期間:3月9日(火)~4月18日(日)
桜の品種が増えた江戸時代、もつばら桜花を描いたことで知られる花隠の佳品です

博物館 でお花見を

名品たちと出会う、トーハクの春

季節はめぐり、トーハクにもまた春が訪れました。「博物館でお花見を」では、本館の各展示室で、絵画や陶磁器など桜をモチーフにした様々な日本美術の名品に出会うことができます。美しい作品たちがトーハクの春を彩ります。

3月16日(火)
▼
4月11日(日)

器面いっぱい
描かれた花鳥に注目



13室

色絵桜花鷺文大皿

伊万里 江戸時代・18世紀
加瀬礼二氏寄贈
展示期間:2月16日(火)~5月9日(日)
豪華絢爛な大皿です。鷺の羽にいたるまで、金彩がふんだんに使われています

鶉色に映える、多彩な花々



8室

振袖 鶉色縮緬地桜藤菊尾長鳥模様

江戸時代・19世紀 阿部美代子氏寄贈
展示期間:3月2日(火)~4月25日(日)
小裁の振袖は少女が着用したのでしょうか。四季折々の花の折枝をふっくらとした刺繍で表した宮廷の好みの意匠です

※「博物館でお花見を」期間限定で、東京国立博物館 鑑賞ガイドアプリ「トーハクナビ」で参加するクイズ形式のスタンプラリーやオンラインによる投句を開催します。詳細は当館ウェブサイトでお知らせいたします。

※本館北側の庭園は、2020年12月8日(火)より当面の間、大規模工事のため全面閉鎖しております。「博物館でお花見を」開催期間中も、立入りエリアに制限や変更が生じる場合がございます。最新の情報は当館ウェブサイトでお知らせいたします。



最高峰の細密雛道具

ひなにんぎょう ひなどうぐ
雛人形および雛道具

江戸時代・安政7年(1860)ほか 前川富士子氏寄贈

とても小さな雛人形とお道具の数々。江戸の地でつくられた雛飾りの傑作です

(部分)

3月3日は桃の節供。雛祭にちなんで恒例となった特集展示を行います。今年も、昨年度新型コロナウイルス感染症の拡大により惜しくも臨時休館となったため1日しか公開できなかった展示をそのまま再現します。なかでも、前川富士子氏寄贈の雛飾りと目比谷家伝来の古今雛は注目の作品。江戸の雛文化の頂点を示す品が一堂に展示される貴重な機会です。また天児・這子や立雛によって、雛人形の発展を概観するとともに、当館所蔵の衣裳人形の優品を展示します。これらの作品を通じ、繊細で美しく、そしてかわいらしいものを尊び、高い技術を使使して作品をつくり上げてきた日本の美意識をお伝えします。

(三田寛之)

愛嬌のある表情が印象的

いしよにんぎょう きちや
衣裳人形 吉弥

江戸時代・18世紀

歌舞伎役者の上村吉弥を写したと伝わるお人形。色つぼさが漂います



(部分)



箆笥を開けてみると、そこには…!

たんす げんじものがりまきえ ひなどうぐ
箆笥 (源氏物語蒔絵雛道具より)

江戸時代・安政7年(1860) 前川富士子氏寄贈

箆笥を開けると浦島太郎に乙姫。扉の内側まで贅沢に凝っています



※2020年の特集「おひなさまと日本の人形」の解説動画は、当館YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

特集 おひなさまと日本の人形

本館14室 2月23日(火)・(祝) ↓ 3月21日(日)

特集

東京国立博物館 コレクションの保存と修理

平成館企画展示室 3月23日(火) ↓ 4月18日(日)

貴重な文化財を未来へと伝えていくため、当館保存修復課では日頃から展示・収蔵環境を整え、科学的な分析調査と、必要に応じて修理を行い、作品の状態維持に取り組んでいます。本特集は、これら保存と修理の成果をご紹介します。恒例企画です。

昨年度、同時期に開催予定だった特集が、新型コロナウイルス感染症の拡大により臨時休館となったため企画を一部変更し、一昨年と昨年に修理を終えた作品を中心に展示します。欠失部の復元により、全容が明らかとなった「突線鈕3式銅鐸」、華麗な色彩にあふれた「四季花鳥図巻」など全9件の作品を、修理方法や修理工程などをわかりやすく示したパネルとともにご紹介いたします。修理の過程で得られた情報とあわせて作品を鑑賞いただける、貴重な展示となります。

(横山梓)



鳳凰の嘴も銀でより美しく

たんほうかんとつかがしら
単鳳環頭柄頭

古墳時代・6世紀
埼玉県秩父郡皆野町
稲荷塚古墳出土

錆の除去により、オリジナルの銀象嵌がよみがえりました



オリジナルの絵付けが再び

ごさいじんぶつもんちやうほうこうす
五彩人物文長方合子

中国・景德鎮窯「大明万曆年製」銘

明時代・万曆年間(1573~1620) 横河下枝氏寄贈

鑑賞の妨げとなっていた、古い修理による補彩を除去しました



(部分)

鮮明になった花鳥とダイナミックな描写に注目!

しき かちやうずかん
四季花鳥図巻

王岡筆 中国 清時代・18世紀

紙の汚れや折れがなくなり、華やかな色使いが鮮明になりました

Pick up!

本館

美しい描線の魔力

重文 騎獅文殊図

3月16日(火)～4月25日(日)

3室 禅と水墨画―鎌倉～室町



(部分)
◎騎獅文殊図 靈彩筆、龍崗真圭賛
室町時代・15世紀

もし「美しい描線グランプリ」が開催されたら、真っ先にこの絵を推したいと思います。もちろん、そんな大会はありません。でもそれほどまでに本作品の描線は、みる者を虜にしてしまう不思議な魔力を持っているのです。文殊の髪や獅子の毛並は、シャープで規則正しい美麗な流線形を描き、対して着衣や獅子の輪郭は、抑揚と凹凸の効いたリズムカルな筆使いを見せまされた、超絶テクニクともいえるべき金泥線も見逃さないでしょう。展示室でこの作品に對峙したとき、はたしてあなたは、この描線の魔力に抗うことができるでしょうか。
(高橋真作)

本館

能舞台上で花と蝶が優雅に舞う

長絹 茶地藤蝶模様

4月27日(火)～6月27日(日)

9室 能と歌舞伎

長絹はもともと、宮廷貴族の少年が着用する公家装束の一種でした。紗や絹といった薄手の絹地で仕立てられ袖幅が広く雅やかな衣装は、能装束に取り入れられて女性役の上衣として用いられるようになりました。能「賀茂」における女神役のような、あるいは天女、巫女といった役に用いられる際には、舞台上で舞うときに広い袖が優美に翻ります。この長絹には、金の丸籠の中にとおやかにしだれる藤の花を入れた大きな紋が織り出されています。裾には金糸で織られた蝶が舞い、この世のものとは思えない美しい女性の姿を象徴するかのようです。
(小山弓弦葉)



長絹 茶地藤蝶模様
奈良・金春家伝来
江戸時代・18世紀

東洋館

中国でつくられた石仏の優品

重文 如来三尊立像

通年展示

1室 中国の仏像



◎如来三尊立像
中国 東魏時代・6世紀

中国でつくられた仏像の素材には、古くから人々になじみのある石が用いられていることが多いです。中国の王朝のひとつ、北魏(386～534)の時代には大規模な石窟寺院が建てられるとともに、たくさんの優れた石造の仏像がつくられました。北魏のうちに東魏と西魏に分かれますが、東魏時代に石灰岩でつくられたこの像は、北魏の仏像の特徴を受け継いでいます。例えば、重ね着をする服装は北魏時代につくり出され、その後も流行した形式です。細長い顔立ちや優しく微笑む表情、横から見るとほっそりとした体つきなども北魏時代以来の特色です。
(増田政史)

東洋館

昔の人の心もとらえた可憐さ

濃縹地花兎文様金欄 角倉金欄

4月27日(火)～7月4日(日)

5室 中国の染織

中国などからもたらされた珍しい染織品は、小さな端切れとなっても大切に保管され、「名物裂」として珍重されました。

この作品も、名物裂のひとつです。深い青緑色の絹地に、たくさんの兎が金糸で織り上げられています。ふつくとした体に、前足をちょこんと上げて振り返る姿が、なんとも愛らしい作品です。兎の隣に配された、盛り上がった地面と花樹を含めて、この文様を「花兎」と称します。また、このような作品は茶人の角倉了以が愛用したことから、「角倉金欄」とも呼ばれています。可憐な兎たちには、昔の茶人が愛好した魅力がたっぷりです。(沼沢ゆかり)



濃縹地花兎文様金欄
角倉金欄
前田家伝来
中国
明時代・16～17世紀
(花兎部分)

総合文化展 **Pick up!**



十二間星兜鉢
平安時代・11世紀
東京都足立区伊興経塚出土
※本作品の調査については、下記「トーハク」の調査研究⑪でご紹介しています。

今回の展示では、伊興経塚(東京都足立区)の出土品すべてを、明治12年(1879)の発見以来、初めて一堂に展示します。出土品には、甲冑の兜と小札、経典を納める鉄製経筒、密教法具の五銚鈴・鉢・台皿、太刀の足金貫、銭貨、木製漆塗瓶子があります。このうち、もっとも注目されるのが兜です。平安時代後期(11世紀)に製作された貴重な作例で、正面を縦長の鉄板で矧ぎ合わせる構造が、古墳時代の衝角付冑と共通しています。経塚は永く祈りが残ることを願って経典などを埋納した遺跡ですが、当館でもこの兜と鉄製経筒を後世に伝えるため保存修理を行い、昨年度までに完了しました。(山本亮)

平成館

伊興経塚の出土品が初めて一堂に

十二間星兜鉢

3月23日(火)～9月20日(月・祝)

考古展示室

法隆寺宝物館

聖徳太子の父、用明天皇の宸筆として伝来

重文 法華経(一)

3月23日(火)～5月23日(日)

第6室 書跡―法隆寺伝来の法華経―



◎法華経(一) (部分)
奈良～平安時代・8～9世紀

力強い筆致が魅力的な法華経の名品。黄麻紙と呼ばれる薄黄色に染められた紙に、薄い墨で界線を

引き、1行17文字詰めで経文が記されています。きつちりと形が整えられた奈良時代の写経と比べると、わずかに自由さがうかがわれ、より勢いを意識した形から、平安初期前後に書写されたものと考えられます。なお、当館が所蔵する明治5年(1872)の「古器物目録」にはこの作品について「一、法花経 用明帝宸筆 箱添 一」とあり、聖徳太子の父である用明天皇の筆として伝わったことがわかります。「箱添」とあるように、同じく献納宝物の木画箱(奈良時代・8世紀)に収められて伝えられました。(三田覚之)

黒田記念館

生前の姿を伝えるリアルな表現

自画像

3月2日(火)～5月23日(日)

黒田記念室



自画像
黒田清輝筆 大正4年(1915)

厳格な面持ちで真っ直ぐこちらを見つめてくるこの男性こそ、近代の洋画壇を牽引した黒田清輝です。黒田は、数え年50歳でこの自画像を描きました。黒田の教え子で洋画家の中村研一は、黒田の死後、本作品が黒田のアトリエにかけられていたことを回想しながら、作品の印象を「全く先生はこの図の通り日本人に珍しく色ツヤのよい人であった」と述べ、黒田との交流を「この絵を見ながらいきいきと思ひ出す」と語りました。生前の黒田のリアルな姿を今に伝える、真に迫った表現です。(東京文化財研究所・野城今日子)

トーハクの調査研究⑪

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

調査研究によって文化財の価値や評価がさらに高まります

平成館考古展示室で3月23日より展示している伊興経塚出土の十二間星兜鉢は、現存最古級かつ経塚出土品としては国内唯一の貴重なものです。

出土から約140年を経て保存修理されたのを機に本作品の調査研究に取り組み、小さいながらも重要な発見がありました。兜正面の3か所にふたつ並んだ小穴があったのです。この小穴は国内に3例しかない着脱式の鍬形を装着するためのものと考えられます。そして、本作品を含む出土品全体を精査した結果、伊興経塚の造営年代を鎌倉時代後～末期(13世紀末～14世紀初頭)に絞り込むことができました。

これらの成果から、十二間星兜鉢を所持し、伊興経塚を造営したのは、武蔵武士の足立氏ではないかと想定しています。(佐藤寛介)



2020年12月調査の様子
※調査研究の内容は「MUSEUM」689号に掲載しています。

4
茶の美術

-4/25日
◎**五彩桃果宿禽文皿**
中国・景德鎮窯 明時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
浅く彫り削って表された、中央の大きな桃が印象的です



4/27日-7/18日
◎**耳付茶入 銘 於大名**
瀬戸 江戸時代・17世紀 塩原千代氏寄贈



3-3
— 鎌倉〜室町 —
禅と水墨画

3/16日-4/25日
◎**騎獅文殊図**
靈彩筆、龍岡真圭賛 室町時代・15世紀
獅子に乗る文殊菩薩を、流れるような美しい筆線で描いています(→6ページ)



4/27日-5/23日
◎**葡萄栗鼠図**
元賀筆 室町時代・16世紀
葡萄の実をくわえたりすが、骸骨のような奇怪な枝にとまっています




3-2
— 平安〜室町 —
宮廷の美術

3/16日-4/25日
◎**雀の発心**
室町時代〜安土桃山時代・16世紀
美田悦子氏寄贈
わが子を蛇に食われた雀の小藤太が、出家して諸国をめぐる物語です (部分)



4/27日-5/23日
◎**催馬楽抄** 平安時代・11世紀
◎**馬医草紙** 鎌倉時代・文永4年(1267)



3-1
— 平安〜室町 —
仏教の美術

3/16日-4/25日
◎**阿弥陀聖衆來迎図**
鎌倉時代・14世紀



4/27日-5/23日
◎**十六羅漢像(第十一尊者)**
平安時代・11世紀
山中で、猿や山羊から捧げものをされる羅漢が描かれています



1-1
— 縄文・弥生・古墳 —
日本美術のあけぼの

-6/27日
◎**火焰型土器**
縄文時代(中期)・前3000~前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土



◎**埴輪 猿**
古墳時代・6世紀
伝茨城県行方市大日塚古墳出土
子猿を背負い、愛おしい表情が特徴的な母猿の埴輪です



1-2
— 飛鳥・奈良 —
仏教の興隆

3/23日-4/25日
◎**薬師如来立像**
飛鳥~奈良時代・7~8世紀
和歌山県東牟婁郡那智勝浦町那智山出土
北又留四郎氏他2名寄贈



-7/4日
◎**瑞花猿狢方鏡**
奈良時代・8世紀 京都市西京区山田桜谷町出土
荒木首次郎氏寄贈
猿狢とは空想上の動物で、獅子の別名ともされます



2
— 国宝室 —
国宝室

3/16日-4/11日
◎**虚空蔵菩薩像**
平安時代・12世紀
茫漠とした空間を感じさせる描写と、効果的な銀の使用が魅力の作品です



5/11日-6/13日
◎**一聖遍給巻第七**
法眼円伊筆 鎌倉時代・正安元年(1299)



※は「博物館でお花見を」(→4ページ)関連作品です。 ※は「博物館で動物めぐり」(→13ページ)関連作品です。



3/9(火)-4/18(日)
おほほらごころずびょうぶ
●大原御幸図屏風
長谷川久蔵筆
安土桃山時代・16世紀
『平家物語』終盤の名場面。草木の繊細な描写が、建礼門院の優げな境遇と共鳴しています

7

屏風と襖絵
— 安土桃山・江戸

4/20(火)-5/30(日)
●許由巢父図屏風
久隅守景筆 江戸時代・17世紀
探幽四天王と謳われた守景が、栄達を嫌う理想の高士の話を描いています



4/13(火)-7/4(日)
●紫裾濃威筋兜
江戸時代・18世紀 松平直亮氏寄贈
金色の龍が飾られたデラックスな兜です

4/20(火)-7/11(日)
●太刀 福岡一文字助真
鎌倉時代・13世紀
紀州徳川家に伝来した福岡一文字助真の傑作。華麗な刃文が見どころです



5-6

武士の装い
— 平安〜江戸



-4/25(日)
●瓢形酒入
船田一琴作 江戸時代・天保14年(1843)



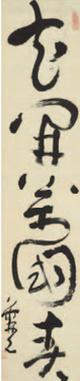
8-1

暮らしの調度
— 安土桃山・江戸

4/27(火)-7/18(日)
●染付子犬形香炉
平戸 江戸時代・19世紀
繊細な表情をつくる技術が見どころ。三川内(平戸焼)得意の細工です



3/9(火)-4/18(日)
●一行書
「花開万国春」
池大雅筆
江戸時代・18世紀
久世民榮氏寄贈
江戸中期を代表する文人画家池大雅が、陽光あふれる春の爛漫さを象徴する句を草書で揮毫したものです



8-2

書画の展開
— 安土桃山・江戸

4/20(火)-5/30(日)
●猿猴図
狩野山雪筆
江戸時代・17世紀
植松嘉代子氏寄贈
墨の滲みなど高度な技術に裏打ちされた愛くるしい猿。京都・妙心寺海福院旧蔵です





3/2(火)-4/25(日)
●唐織 金紅段
枝垂桜尾長鳥模様
上杉家伝来
江戸時代・18世紀



9

能と歌舞伎

4/27(火)-6/27(日)
●長絹 茶地藤蝶模様
奈良・金春家伝来 江戸時代・18世紀
女神や天女など、女性役に用いられる上衣。舞い姿が美しいです(→6ページ)



3/16(火)-4/11(日)
●飛鳥山図
鍛形惠齋筆 江戸時代・19世紀
徳川吉宗が桜の木を植えてお花見の行楽地になった飛鳥山を描いています



浮世絵

3/2(火)-4/25(日)
●小袖 紅綸子地
雪持笹桜模様
江戸時代・17世紀



4/13(火)-5/9(日)
●犬を戯らす母子
鈴木春信筆
江戸時代・18世紀
母と子、そして飼い犬とが触れ合うさりげない日常を優しく描いています



衣装

4/27(火)-6/27(日)
●袱紗
紅縮緬地桜龍鯉模様
江戸時代・19世紀
龍に鯉が昇ると龍になるという中国の故事から「登竜門」という言葉が生まれました



15

歴史の記録

-4/11(日)

◎甲州道中分間延絵図

道中奉行所編 浅草文庫旧蔵
江戸時代・文化3年(1806)

内藤新宿から甲州街道をたどる、
江戸幕府が作成した街道図です



(内藤新宿部分)

4/13(火)-6/6(日)

◎禽譜 水禽1

堀田正敦編
江戸時代・18~19世紀写



14

特集

-3/21(日)

「おひなさまと日本の人形」



いぬぼこ
犬筥

江戸時代・19世紀

とても可愛い犬形の箱。お産のお守りであり、雛道具としても飾られました(→5ページ)

3/23(火)-6/6(日)

「鳥獣戯画展スピンオフ
動物表現の古今東西」

◎藍釉兔

中国
唐時代・8世紀
横河民輔氏寄贈

前脚を立てるのはノウサギの特徴。野性味のある精悍な顔立ちです(→3ページ)



案内 1階 展示



13-3

陶磁

-5/9(日)

◎色絵桜樹図透鉢

仁阿弥道八作
江戸時代・19世紀



◎色絵琴高仙人図鉢

伊万里 江戸時代・17~18世紀
鯉の背に乗って水中から現れる琴高仙人が、いきいきと描かれています



13-2

刀剣



3/2(火)-5/23(日)

◎太刀 伯耆安綱(名物 童子切安綱)

平安時代・10~12世紀
酒吞童子という鬼を斬ったという伝説をもつ伯耆安綱の代表作です

3/9(火)-5/30(日)

◎松上鷹図鐙

志水甚五作 江戸時代・17世紀
川田龍吉氏寄贈



11

彫刻

-5/9(日)

◎十二神将立像(巳神)

京都・浄瑠璃寺伝来
鎌倉時代・13世紀
十二神将のうちの巳神。
鋭い目つきは威嚇するへびを
思わせます



5/11(火)-8/29(日)

◎吉祥天立像

京都府亀岡市・大宮神社伝来
平安時代・10世紀

12

漆工

3/9(火)-5/30(日)

◎比良山蔦絵硯箱

塩見政誠作
江戸時代・18世紀



◎獅子牡丹平文鞍 室町時代・16世紀

武骨で豪放、実戦用の鞍装飾。とぼけたように真剣な獅子の姿を描きます

13-1

金工

3/23(火)-6/20(日)

◎金銅火舎

平安時代・12世紀



◎五具足

村田整珣作 江戸時代・19世紀
香炉・華瓶・燭台のセット。
鶴亀や麒麟など吉祥の動物が
あしらわれています



2021年度の総合文化展

国宝室（本館2室）の予定

① 3月16日(火)～4月11日(日)

●虚空蔵菩薩像
平安時代・12世紀



①部分

② 4月13日(火)～5月9日(日)

●三宝絵詞
鎌倉時代・文永10年(1273)



②部分

③ 5月11日(火)～6月13日(日)

●一遍聖絵 巻第七
法眼円伊筆 鎌倉時代・正安元年(1299)



③部分

④ 6月15日(火)～7月11日(日)

●寛平御時后宮歌合
伝宗尊親王筆 平安時代・11世紀



⑤部分

⑤ 7月13日(火)～8月1日(日)

●平治物語絵巻 六波羅行幸巻
鎌倉時代・13世紀 松平直亮氏寄贈



⑥部分

⑥ 8月3日(火)～9月5日(日)

●山水屏風
鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵



⑦部分

⑦ 9月7日(火)～10月3日(日)

●十二天像(羅刹天)
平安時代・9世紀 奈良・西大寺蔵



⑧部分

⑧ 10月5日(火)～10月31日(日)

●伝藤原光能像
鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵



⑨部分

⑨ 11月2日(火)～11月28日(日)

●秋萩帖
伝小野道風筆 平安時代・11～12世紀



⑩部分

⑩ 11月30日(火)～12月25日(土)

●白氏詩巻
藤原行成筆 平安時代・寛仁2年(1018)

⑪ 2022年1月2日(日)～1月16日(日)

●松林図屏風
長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀

⑫ 2022年1月18日(火)～2月13日(日)

●十六羅漢像(第三尊者)
平安時代・11世紀

⑬ 2022年2月15日(火)～3月13日(日)

●十二天像(水天)
平安時代・9世紀 奈良・西大寺蔵

⑭ 2022年3月15日(火)～4月10日(日)

●十六羅漢像(第十六尊者)
平安時代・11世紀

注目の企画

「博物館でアジアの旅」 9月7日(火)～10月10日(日)

「博物館に初もうで」 2022年1月2日(日)～1月30日(日)

「博物館でお花見を」 2022年3月15日(火)～4月10日(日)

3/2(火)-4/11(日)

シントコ(厚簀)
北海道アイヌ(厚岸)
19世紀 徳川頼貞氏寄贈



16

アイヌと琉球

4/13(火)-6/20(日)

龍の首をつけ、軸部に唐草などの文様を打ち出した特別な簪です



3・4・5月
本館展示
ジャンル別

18

近代の美術



-5/9(日)

精華
吉田博筆
明治42年(1909)
吉田ふじを氏寄贈

3/16(火)-5/9(日)

京の舞妓
速水御舟筆 大正9年(1920)
着物や畳など、質感に執着した細密描写が注目された作品です



みどりのライオン



※掲載されている催し物につきましては、今後、予告なく変更・中止する場合がございます。当館ウェブサイト等でご確認ください。また、動画配信については、公開済、公開予定のコンテンツを掲載しています。

お知らせ

講演会等を動画配信しています

ご自宅等でお楽しみいただけるよう
YouTubeで動画を配信しています。



東京国立博物館
YouTubeチャンネル

オンライン

月例講演会

「仁清作色絵月梅図茶壺 一半青く、半分赤い」

講師：今井敦（博物館情報課長）
当館が所蔵する仁清の代表作「色絵月梅図茶壺」をよく観察することによって浮かび上がってくる、制作に隠された秘密についてお話しします。



「白描図像—折りと魂の描線—」

講師：古川攝一（絵画・彫刻室研究員）
沖松健次郎（絵画・彫刻室長）
仏の姿を図示したものを図像といいます。白描という線が主体の表現手段で描かれました。間違いが許されない一発勝負の図像の魅力をお話しします。



十六善神図像 玄証筆 高山寺伝来
平安時代・治承3年(1179)
松永安左工門氏寄贈
5月25日(火)~7月4日(日)まで
本館3室にて展示

オンライン

ギャラリートーク

「世界と出会った江戸美術」

講師：鷺頭桂（絵画・彫刻室主任研究員）
猪熊兼樹（特別展室長）
江戸時代は、日本と外国との往来が制限されていましたが、さまざまな美術品や情報が海を渡りました。異国との交流の様子を映しだす、貴重な品々をご紹介します。



「博物館に初もうで ウシにひかれてトーハクまいり」

講師：高橋真作（文化財活用センター企画担当研究員）
牛にまつわる豊かな歴史と造形について、クイズ形式で解説します。



ほかにあります！

充実の動画ラインナップ！

装飾古墳入門

九州のローカルな古墳文化とさされてきた装飾古墳について、河野一隆（調査研究課長）が4回にわたって解説するシリーズが完結。最終回は、装飾古墳と洞窟絵画はどのように描かれたのか、また、描き方などに共通点はあるのかを紐解きます。



第4回のテーマは「装飾古墳は洞窟絵画と関係があるのか?」です。

特別展「きもの KIMONO」開催記念国際シンポジウム「日本文化としての『きもの』を考える」

当館で開催を予定していた国際シンポジウムを、新型コロナウイルス感染症予防および拡散防止のため、動画で配信します。切畑健氏（京都市立博物館名誉館員）による基調講演をはじめ、日本国内および海外できもの文化を研究してきた5人のパネリストによる研究発表を全6回に分けてご紹介します。 公開期限：2023年3月末まで



オンラインワークショップ

事前申込制

オンラインファミリーワークショップ「びょうぶをつくる」

今回のプログラムは、ご自宅などからオンラインでご参加いただくワークショップです。事前に送付される専用のキットを使って、自分だけの屏風を作ります。屏風の構造や、昔の人がどうやって屏風を使っていたのかがわかると、見る楽しさもぐっと広がります。

日時：5月15日(土) ① 10:00~12:00 ② 14:00~16:00
5月16日(日) ③ 10:00~12:00 ④ 14:00~16:00

使用ツール：Zoom

※当選された参加者の方には当日のアクセス先をメールでお送りします。
※安定的な通信環境でのご参加をおすすめします。
※カメラとマイク付きのPCやiPadなどのタブレットを使用してください。スマートフォンは不可。

対象：①③小学1年生~小学3年生のお子さんと保護者のペア
②④小学4年生~小学6年生のお子さんと保護者のペア
定員：各回10組20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料

申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。

申込締切：4月14日(水)

お問合せ：TEL:03-3822-1111(代) 教育普及室

※1組でひとつ、作品をつくります。

※当選された参加者の方には、申込締切日から2週間以内に材料のキットを事前送付いたします。ご家庭で事前に行う準備作業があります。



厚紙を貼り合わせてミニ屏風をつくり、絵も自分で描きます。



2枚のパネルがつなぎ合わされている「紙蝶番」という仕組みを自分でつくれるのよ!

※事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。受講可否についてご不明な点がございましたら、お電話でお問合せください。 TEL:03-3822-1111(代)

※各種催し物にご応募の際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

※インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

博物館で動物めぐり

この春トピックでは、特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」(本誌2ページ)をはじめ、本館、東洋館、平成館考古展示室の各展示室でも動物作品をモチーフにした展示をします(※本誌8~11ページ掲載以外も展示します)。さらに下記の特集でもさまざまな動物の作品をご紹介します。かわいい動物、リアルな動物、なかには「これも動物?」と思うような作品があるかもしれません。トピックでの動物めぐりで新たな発見やお気に入りの動物に出会えますように。

特集

ちゅうじゅうぎがてん

鳥獣戯画展スピンオフ 動物表現の古今東西

本館14室、特別1室、特別2室 3月23日(火)~6月6日(日)

本特集は、平成館で開催される特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」の関連企画です。兎や蛙が人間さながらに遊びに興じるあの絵巻といえば、わかるひとも多いのではないのでしょうか。しかしいったい動物たちは何をやっているのでしょうか? 動物にこめられた意味は? また、この絵巻が描かれた意図は? まだまだ謎だらけの絵巻「鳥獣戯画」を深掘りして、その魅力に迫ります。(皿井舞)



微笑ましい
幻想的な風景

特別2室

月宮八稜鏡

中国 唐時代・8世紀
仙薬をつく兎と蛙。東アジアで長く親しまれる月世界の情景です

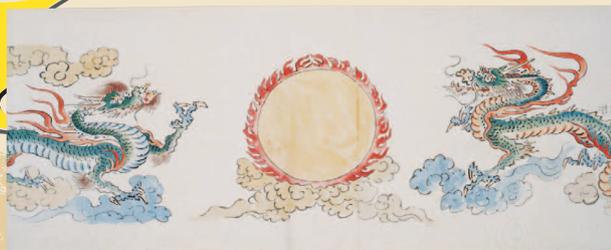


太陽の紅炎を
纏ったような
龍の背びれ

特別1室

獣形帽額縮図

吉田静峯模、森田亀太郎彩色
大正4年(1915)11月25日撰、大正5年(1916)彩色 ※会期中巻替えあり
日輪にむかって駆ける瑞獣を描いた幕の図案。即位礼の際、大極殿や紫宸殿にかけられました



(部分)

躍動感溢れる見事な造形

14室

兎形香油壺

伝ギリシャ出土
前6世紀前半
谷村敬介氏寄贈
奉納品だったのでしょうか。ジビエとしての兎が表現されています



特集 親と子の ギャラリー

動物のうごき

平成館 企画展示室 4月27日(火)~5月30日(日)

本特集は、東京都恩賜上野動物園、国立科学博物館と当館の3館園連携で行う「上野の山で動物めぐり」の企画です。今回のテーマは、「動物のうごき」です。

動物の躍動的なうごきを表現した作品や、昔話に登場するおなじみの動物がひとのようなうごきをしている作品に注目します。魅力的なうごきを見せる動物たちの姿をお楽しみください。(阿部楓子)



遊び心いっぱい
描かれたタコ達

流行謡の遊び

歌川国芳筆
江戸時代・19世紀
江戸時代の人々の間で流行したものを蛸でユーモラスに表現しています

金と銀が織りなす
美しいシカの疾走

金彩銀壺「山背」

増田三男作 平成2年(1990)
風になびく銀色の草の表現から、金色の鹿たちのスピードが感じられます



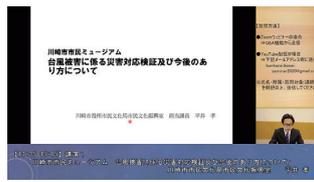
得意顔で見事な
羽ばたきをアピール

飛鷹

葛飾北斎筆 江戸時代・19世紀
1匹の鷹が、風に身を任せて大空を悠々と飛んでいます

文化財防災セミナー 「共に助け合う地域・ミュージアム」開催

2020年12月11日(金)、東京国立博物館、九州国立博物館、文化財防災センターとの共催により「文化財防災セミナー『共に助け合う地域・ミュージアム』」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催となりましたが、全国各地から多くの自治体職員や学芸員の皆様にご参加いただきました。セミナーでは、令和元年東日本台風による博物館等の被災状況およびその救援活動について報告があり、参加者から高い関心が寄せられました。今後も文化財防災センターや関係機関と連携しながら、博物館等の防災対策の強化に向けて取り組んで参ります。



川崎市市民ミュージアムの台風被害に関する講演の様子

第7回北米欧州ミュージアム日本美術専門家交流事業開催

2021年1月末から2月にかけて、米欧の博物館の日本美術担当学芸員との交流事業をオンラインで開催しました。国際シンポジウムでは「日本美術がつなぐ博物館コミュニティ ウィズ/ポスト・コロナ時代の挑戦」と題し、東京都庭園美術館の樋田豊次郎館長による基調講演に続き、このコロナ禍で学芸員がどのように活動しているか、一気に広がったデジタルデータの活用も含めて発表がありました。専門家会議もZoomを介し欧米の学芸員と繋いでオンライン開催、また文化財取扱研修、エクスカージョンは動画配信としました。地域・国際間の移動制限がある中、遠方の方々にもご参加いただくことができ、リモートならではの良い面もありました。



樋田館長講演のライブ配信の様子

手ぬぐいをプレゼント

2020年9・10・11月号でご紹介した伊藤若冲自画自刻の「玄圃瑠華」を使用したポスターデザインを手ぬぐいにしました。こちらを10名様にプレゼントします。締切は2021年6月10日(木)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

*手ぬぐいは1種類(鳳仙花)のみです。販売はしていません。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース3・4・5月号」プレゼント係

東京国立博物館会員制度および 賛助会員制度改定のご案内(2021年4月1日(木))

2021年4月より会員制度および賛助会員制度を改定いたします。2020年4月の総合文化展観覧料の改定に伴い、会員の皆様に今後も当館に繰り返しご来館いただけるよう特典の見直しを行います。また、賛助会員の皆様には当館の貴重なコレクションを次世代に確実に継承するべく、財務基盤へのご支援をお願いいたします。これからも皆様に当館の活動に親しんでいただけるよう努めてまいりますので、ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いたします。改定内容の詳細につきましては、当館ウェブサイトおよび館内配布チラシをご確認ください。

※現行の会員制度は2021年3月31日(水)をもって申込受付を終了いたします。2021年3月31日(水)までに発行された会員証をお持ちの方は、有効期限内はご入会時の制度の特典をご利用いただけます。

閉室情報

展示室の一部を以下の通り閉室します。

東洋館地下1階11・12・13室:2021年5月10日(月)~7月5日(月)

※上記期間中、東洋館地下1階TNM & TOPPAN ミュージアムシアターは開場いたします。

レストラン情報

東洋館別棟1階「ホテルオークラレストラン ゆりの木」は当面の間、営業開始時間を以下の通り変更いたします。何卒ご了承ください。

営業時間 11:00~17:00(ラストオーダーは16:20)

※詳細は東京国立博物館ウェブサイト(https://www.tnm.jp/modules/r_free_page/index.php?id=124)をご覧ください。

トーハク×都美 連携で音声ガイドをつくりました

東京都美術館で開催中の特別展「没後70年 吉田博展」と当館所蔵の吉田博の作品および同時代に活躍した黒田清輝の作品を紹介する音声ガイドを東京都美術館と共同で開発しました。スマートフォン・タブレット・PCで無料にてお聴きいただけます。ぜひ両館の展示とあわせてお楽しみください。



ダウンロードはこちら



利用可能期間:2021年3月28日(日)まで

「冬木小袖」修理プロジェクト」中間報告

重要文化財「小袖 白綾地秋草模様」(通称「冬木小袖」)修理のためにご寄附を募る本プロジェクトは、2020年12月末までに8,447,105円のご厚志をいただきました。深く御礼申し上げます。目標金額は15,000,000円です。引き続きあたたかいご支援をお待ちしております。



漆蒔絵の著置きなど寄附金額ごとに返礼品をご用意しています(詳細はウェブサイトをご確認ください)。



「冬木小袖」修理プロジェクト

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品『洛中洛外図屏風 舟木本』

2021年4月11日(日)まで

東京国立博物館が所蔵する国宝「洛中洛外図屏風(舟木本)」には、豊臣家が滅びる直前の京都の様子、そしてそこに暮らす2,500人にもおよぶ人々の姿が活写されています。実物鑑賞では見えない花見席の重箱や、二条城の台所など「食」から広がる400年前の京の世界を、バーチャルリアリティでのぞいてみませんか。

料金:一般・大学生・高校生600円、小学生・中学生300円、未就学児・障がい者とその介護者各1名は無料(1作品/1回あたり)、別途入館料が必要です。開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。

【予告】VR作品『鳥獣戯画 超入門!』

4月14日(水)~7月11日(日)(予定)

※所要時間 各約35分です。

※演目・スケジュール・定員は、都合により変更となる場合がございます。

※詳細はウェブサイト(<http://www.toppan-vr.jp/mt/>)をご覧ください。



3・4・5月の休館日情報

	3月	4月	5月
休館日	1日、8日、15日、22日	5日、12日、19日、26日	10日、17日、24日、31日

※3月29日(月)、5月6日(木)は臨時開館いたします。

※開館時間、休館日等の最新情報は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

●入館はオンラインでの事前予約制(日時指定券)となります。

[入館可能時間] 9:30~12:30、12:30~16:30、
16:30~20:30(夜間開館実施日のみ)

※滞在時間の制約はありません。

- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 国際博物館の日(5月18日<火>)、敬老の日(9月20日<月・祝>)、文化の日(11月3日<水・祝>)は、総合文化展のみ観覧無料

詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、
Twitter、Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



【ご注意】 以下の賛助会員制度および会員制度は、窓口では2021年3月31日(水)まで、ウェブサイト・郵便振替・銀行振込では2021年3月15日(月)までお申込みいただけます(システム移行作業のため、締め切りが早くなっております)。4月1日(木)以降、制度内容が変更となりますので、詳細および申込方法は、当館ウェブサイトや館内配布チラシをご確認ください。

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内 (2021年3月31日(水)まで)

博物館事業の充実のための支援制度です。

【主な特典】 特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】 <団体> プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員 100万円(1口)・維持会員 20万円、<個人> プレミアム会員 100万円以上、特別会員 20万円・維持会員 5万円

【申込方法】 当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

◆東京国立博物館会員制度 (2021年3月31日(水)まで)

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効 年会費:8,000円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効 年会費:一般5,000円、学生3,500円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,000円、学生1,000円

【特典】 東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読 年会費:1,000円(1年分)

【特典】 東京国立博物館ニュースを1年分ご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで100円割引(2020年6月より年4回発行となりました)。

*次号より送付ご希望の場合、締切は2021年5月10日(月)です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替<振替用紙を送付>)。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)、③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度
口座番号:00140-3-791791

●振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かかります。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的のみに使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) / FAX 03-3821-9680
総務課渉外開発担当

*月~金曜日の9:30~17:00(土日・祝休日は除く)

表紙の名品

2021年3月・4月・5月号

幼時を夢見る坂田金時

2021年4月13日(火)～5月9日(日)
本館10室

夢？ それとも回想？ 若き日を回顧する金時



幼時を夢見る坂田金時 鳥居清長筆 江戸時代・18世紀

毛むくじゃらな男が、片肌脱いで酒樽に肘をついている。飲みすぎたのか、うつらうつらと眠気に誘われ、夢を見ているようです。吹き出しで描かれた夢では、腹掛けをして鉞まさきを手にした子どもが、熊を懲らしめて(?)います。背景には滝があり、雲が沸き立っていることから、これが山奥だということがわかります。

金太郎。「わんぱくでもないから、たくましく育てほしい」という親の願いが込められて、五月人形などの題材となっています。昔話の桃太郎や一寸法師は、おじいさんとおばあさんに育てられ、大人になって鬼退治をしますが、「金太郎」がどうなったかを知っていますか。

金太郎は、シングルマザーの山姥やまばあに育てられました。お父さんは雷神の化身、赤い龍。だから、金太郎は体が赤く力持ち。赤龍はお酒が好きだったらしいので、金太郎も酒好きに違いありません。金太郎が酒を飲んでいる絵もあります。



子どもに見せたい初夢ではなく、だれが見たい初夢なのでしょうか (部分)

した勇猛な武将、金時の子ども時代の姿だったのです。金太郎は史実と物語がないまぜになった不思議な伝説によって生まれたのです。

眠気に誘われた男の着物は「金」の文字があり、これが金時の姿だとわかります。正月の輪飾りをつけた酒樽、傍らには宝船の摺物が置かれており、これが金時の初夢。過ぎ去った昔、子ども時代を懐かしく思い出している姿です。健やかな成長を願う親の愛情が込められた姿は、吉祥テーマとしてふさわしかったのでしょう。金太郎は、山姥の優しい姿と組み合わせられて、鳥居清長や喜多川歌麿きたがわうたもろによって数多く描かれています。この絵には、立身出世の夢だけでなく、老いを感じて少し疲れた人物が、若いということが夢であると懐かしんでいる姿にも見えます。(田沢裕賀)